



「どう？痛くない？」

小張小学校3年生の子どもたちが、市内の一人暮らしのお年寄り約60人を招いた交流会を10月2日、同小学校の体育館で行いました。

当日は、子どもたちが、お年寄りの前で組体操や合唱を披露した後、子どもたちから、お年寄りへ「いつまでも健康でいてください。」と肩たたきのサービスがありました。その後、お年寄りから、「戦争はとても恐ろしく、絶対にやってはいけないよ!」「私が10歳の頃は、『遊ぶ』ということができず、ずっと家事の手伝いをしていました。」という体験談を交えたお話が行われ、子どもたちは、真剣なまなざしで食い入るように聞いていました。

肩たたきしてあげるね

小張小で高齢者と交流会



「気持ちいいよ!」

皆さんをお送りすると、感動して涙を流す方もいるほどの心温まる交流会でした。

同小学校の直井 修三校長

200人を突破しました!

認知症サポーター養成講座受講者

市では平成20年度から認知症サポーター養成講座を開催し、延べ受講者数が201人となりました(10月1日現在)。講座後のアンケートでは、「地域で困っている方がいたら、まずは声かけから始めたい」「介護に疲れていたのが、とても身になりました」などの感想がありました。認知症サポーターは、何か特別なことをするのではなく、認知症の人やその家族を暖かく見



貴重な話を真剣に聞く子どもたち

は、「こうして、一人暮らしの高齢者の方々と子どもたちが交流できる機会が、やさしさや思いやりの気持ちを確かめられる」とも、お互いにとって良い効果をもたらしているのではないかと話してくれました。



「私たちも応援します!!」

うまいお米できました

コシヒカリオーナーへ引き渡し

米作りを通じて農業への理解を深め、市産のお米を味わっていただくため、コシヒカリオーナー制度の玄米引き渡し式が10月3日、JA茨城みなみ谷和原低温倉庫で行われました。市内外から参加したオーナーは、田植えや除草作業を体験して、今回の引き渡しとなりました。会場内では、お米のつかみ取りを行うなどし、多くの参加者でにぎわいました。

東京から参加した家族は「子



お米がこぼれちゃうよ~

どもに貴重な体験をさせることができて満足です。今晩は、新米を食べます」とうれしそうに話してくれました。

皆さんの意見を市政に!

今年度2回目の市民対話集会を10月25日、勸兵衛新田自治会館において開催しました。

当日は、勸兵衛新田自治会から約30人の方が参加さ



~勸兵衛新田自治会と対話集会~

れ、市からは、市長、副市長、教育長などが出席し、活発な意見交換が行われました。

集会では、道路・交通問題、環境問題など幅広い分野での意見交換が行われました。提案されたご意見は、これからのまちづくりの参考とさせていただきます。

市では、今後も対話集会を続けていきますので、希望される方はご相談ください。

問 伊奈庁舎秘書広聴課
58・2111(内線1203)